

# 皮膚科



医長  
十一 英子

専門医資格等 日本皮膚科学会皮膚科専門医  
京都大学医学博士  
京都大学医学部臨床教授  
京都皮膚科医会理事

専門分野 皮膚科一般  
皮膚免疫

得意疾患 乾癬  
糖尿病足病変

## □ スタッフ

平成25年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	岡本奈都子	日本皮膚科学会皮膚科専門医	皮膚科一般	
医師	渋谷真美		皮膚科一般	
レジデント	徳永茉以		皮膚科一般	

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本皮膚科学会専門医研修施設 生物学的製剤使用承認施設
-------	--------------------------------

1. 乾癬に対する生物学的製剤による治療を行っています。
2. 糖尿病足病変、基礎疾患を持つ蜂窩織炎、帯状疱疹などの感染症や難治性潰瘍など、総合病院の特色を生かして他科と密に連携して治療しています。
3. 地域の他病院から紹介された診断困難な症例、難治例、重症例なども多く受け入れています。

## □ 主な対象疾患

アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、蕁麻疹、乾癬、薬疹、水疱症、皮膚腫瘍、皮膚潰瘍、細菌感染症（ざ瘡、蜂窩織炎、丹毒、伝染性膿痂疹、など）、ウイルス感染症（帯状疱疹、単純疱疹、カポジ水痘様発疹症、尋常性疣贅など）、真菌感染症（足白癬、股部白癬、爪白癬、カンジダ症など）など

## □ 診療（業務）内容

糖尿病に合併する皮膚疾患：糖尿病センターとの連携のもと、糖尿病と関連した足病変、皮膚病変の診療を行っています。

乾癬：中等症～重症では、免疫抑制剤や生物製剤の治療を受ける患者さんが増えており、スクリーニング検査をし適応を決め投与しています。

帯状疱疹（ヘルペス）：重症度に応じて、抗ウイルス剤の内服、入院で点滴治療を行っています。

爪白癬：難治な爪の水虫には抗真菌剤の内服治療を行っています。

接触皮膚炎：かぶれの原因検索に、パッチテストを行っています。

薬疹：重症薬疹は入院で治療しています。

診断・治療のために積極的に皮膚生検を行っています。

□ 診療実績 (平成25年度)

入院患者数

	1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
2013年度	4.1	58	25.2

外来患者数

	1日平均患者数
2013年度	73.9

主な手術・検査の件数など

	皮膚生検	皮膚切開術	皮膚皮下腫瘍摘出術
2013年度	236件	214件	97件

□ 学術活動報告 (学会・研究発表など)

演題・演者・学会名
蜂窩織炎との鑑別を要した壞疽性膿皮症の1例 嘉山智子, 野々村優美, 岡本奈都子, 十一英子 第430回日本皮膚科学会京滋地方会 2013年6月1日 京都
ウステキヌマブ高反応例の投与間隔について 十一英子, 徳永茉以, 嘉山智子, 岡本奈都子 第28回日本乾癬学会 2013年9月7日 東京
大量免疫グロブリン療法に過敏症を示した後天性表皮水疱症の1例 岡本奈都子, 徳永茉以, 嘉山智子, 十一英子 第433回日本皮膚科学会京滋地方会 2013年12月14日 京都
セバシン酸ジエチルによる接触皮膚炎の1例 渋谷真美, 徳永茉以, 岡本奈都子, 十一英子 第434回日本皮膚科学会京滋地方会 2014年3月15日 京都

□ 投稿論文など

著者・タイトル・著書・雑誌名
林雄二郎, 櫻井謙次, 岡本奈都子, 米谷あずみ, 浅田秀典, 十一英子 閉塞性動脈硬化症とCalciphylaxis合併例の皮膚潰瘍に血行再建術が奏功した1例. 臨床皮膚科 67(7):547-552, 2013
十一英子 IL-12/23抗体による乾癬の治療 一冊でわかる最新皮膚科治療 186-188 五十嵐敦之, 宮地良樹, 清水宏編 文光堂 2013 6月
石川牧子, 十一英子 黄白色小結節と年齢から疑うFavre-Racouchot症候群 皮膚科臨床アセット20 日常診療において忘れてはならない皮膚科症候群 155-158 土田哲也, 古江増隆編 中山書店 2013 10月